

アクセシビリティポリシー

趣旨

日本ブラインドサッカー協会(JBFA)のウェブサイトは、視覚に障害を持つ人を含むインターネット利用者に対しても、掲載した情報が等しく伝わるよう、ウェブアクセシビリティに配慮して、JIS X8341-3:2004、W3C、その他の様々な指針をもとにアクセシビリティ化に努めています。

このアクセシビリティ化は、平成18年度の NPO アクセシビリティ支援プログラムの助成を受けて実施されました。

基本方針

1. 視覚障がい者を含むユーザーに対して、必要な情報が伝わるように配慮します。
2. その情報を発信する意義と目的を考え、ページ構成、レイアウト、文書の内容や書き方に配慮し、アクセスユーザーにとって分かり易いコンテンツ作りを目指します。
3. アクセスユーザーに不便を強いないよう、標準技術を遵守しコンテンツを作成するようにします。
4. 作成したコンテンツに問題ないかを事前に十分検証し、公開するようにします。

ガイドライン

NPO アクセシビリティ支援プログラムにおけるウェブコンテンツのアクセシビリティガイドラインは下記のとおりです。

この項目は『高齢者障がい者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェアおよびサービス—第3部：ウェブコンテンツ』(JIS X8341-3)の項目に基づいています。

規格および仕様

- コンテンツは、関連する文法、技術の規格や使用に準拠して作成しています。
- コンテンツには、アクセス可能な技術やオブジェクトを使用しています。
- コンテンツにアクセスできない技術やオブジェクトを使用している場合は、代替形式を提供しています。

構造および表示スタイル

- コンテンツは文書の論理構造に従って記述しています。
- スタイルシートを使ってコンテンツの見栄えをデザインしています。
- スタイルシートに未対応のブラウザでもコンテンツが利用できるようにしています。

構造および表示スタイル

- コンテンツは文書の論理構造に従って記述しています。
- スタイルシートを使ってコンテンツの見栄えをデザインしています。
- スタイルシートに未対応のブラウザでもコンテンツが利用できるようにしています。
- table 要素をレイアウトのために使用しないようにしています。
- table 要素をレイアウトのために使用している場合は、音声ブラウザで正しい順序で読み上げられるようにしています。
- 表は分かり易い構造にし、その構造を明示しています。
- ページのタイトルには、利用者がページの内容を識別できる名称を付けています。
- フレームの使用は、必要最小限にしています。
- フレームを使用する場合には、各フレームが識別できるようにタイトルを付与するなどの配慮をしています。
- 現在の画面がサイト構造のどこに位置しているか把握できるように、階層などの構造を示した情報を提供しています。

操作および入力

- コンテンツは、少なくともキーボードによってすべての操作ができるようにしています。
- フォームは、何を入力すればよいかを分かり易く表示し、操作しやすいように配慮しています。
- 入力に制限時間を設けないようにしています。
- 入力に制限時間を設けている場合は事前に知らせるようにしています。
- 利用者が制限時間を延長もしくは解除できるようにしています。
- 利用者が制限時間を延長もしくは解除できない場合は、代替手段を用意しています。

非テキスト情報

- 画像には、利用者が画像の内容を的確に把握できるようにテキストなどの代替情報を提供しています。
- リンク画像には、リンク先の内容が予測できる代替情報を提供しています。
- コンテンツの内容を理解操作するのに必要な音声情報には、聴覚を用いなくても理解できる代替情報を提供しています。
- 動画情報などには、字幕や状況説明などで、同期した代替情報を提供しています。
- 動画情報などに同期して代替情報が提供できない場合は、内容についての説明を提供しています。
- オブジェクトやプログラムなどには、利用者がその内容を的確に理解できるように代替情報を提供しています。

色および形

- コンテンツの内容を理解操作するのに、必要な情報が色のみに依存しないようにしています。
- コンテンツの内容を理解操作するのに、必要な情報が形のみに依存しないようにしています。
- 画像などの背景色と前景色とは十分なコントラストを取り、識別しやすい配色にしています。

文字

- 利用者が必要に応じてフォントを変更できるようにしています。
- フォントを指定する場合は、サイズおよび書体を考慮して、読みやすいものを指定しています。
- フォントの色は、背景色等を考慮して、見やすい色を使用しています。

音

- 自動的に音が再生しないようにしています。
- 利用者が音の出力(音量調整再生停止など)を制御できるようにしています。

速度

- 変化移動する画像やテキストの速度に注意して作成しています。
- 早い周期での画面の点滅がないようにしています。

言語

- 日本語のページで外国語を多用しないようにしています。
- 日本語のページでやむを得ず外国語を多用する場合には、理解のしやすさに配慮しています。
- 読みの難しい言葉にはフリガナを付けています。
- 見栄え表現のために単語の途中にスペースや改行を入れないようにしています。

今後の取り組み

JBFA では、今後も継続してウェブサイトのアクセシビリティ化に努めて参ります。

制定 2007年1月15日